

KSKQ どかどか No.291

ぽぽんがぽん news

笑顔あふれ つながりあえる社会へ
～ひとりひとりが自分らしく生きてゆけるために～



今回の通信の表紙テーマは「元気が出るもの」との依頼を受けました。これがまた難題でした。どんなことを書いたら元気が出るのか、思い浮かばないのでネット検索に頼ってみました。まず自にとまったフレーズが「元気はでるもんじゃなく出すもんだ」「元気をだすってのは気持ちを切り替えること」「気持ちを切り替えるには動くこと。」「元気が出ないから動かないのではなく、動いて元気を出すんだ」との記事。これを見た時に、自分が元気をだせていないことに気が付きました。自分自身が元気をだせていない。気持ちを切り替えるために体を動かしていきたいと思います。昨年未まで続けていた週1日のジョギングの再開から始めてみようと思います。

そして、検索する中でもう一つ目に留まったのが、金子みすゞさんの以下の詩でした。



『星とたんぽぽ』

青いお空の底ふかく、海の小石のそのように、
夜がくるまで沈んで、昼のお星は眼(め)にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。
散ってすがれたたんぽぽの、瓦(かわら)のすきに、
だアまって、春のくるまでかくれて、つよいその根は眼にみえぬ。
見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。



昨年11月に G H で生じた虐待の件が4月にメディアにて報道されました。このことは自分なりにも重たいものがあり、大きなプレッシャーを感じました。ぽぽんがぽんの理念や支援で大切にしてきたつもりのものがなくなってしまうような感覚になることもありました。しかし、職員の見解を聞かせてもらったり、支援の話を聞いたり、相談を受けたりする日常を通じて、ぽぽんがぽんの理念や歴史は確かに脈づいていることを改めて感じています。僕自身が見えなく？見なく？なっていただけで、利用者、職員、ご家族、関係の皆さんは、これまで大切にしてきたことを今もそれぞれに大切にして下さっていることを感じます。
無くなったものを作り直していくのではなく、あるものを皆と確認し直していくために、皆と取り組んでいきたいと思っています。

事務局 長 水野昌和

目次

1 元気は出すもの

2-3 ろくちゃんまちをゆく

4 スタッフ紹介

5 かの木園の給食をご紹介します

6 きょうのNANIKA

7 つながりまつり中止のおしらせ／ご寄付等お礼

8 編集後記



ろくちゃんまちをゆく NO.101

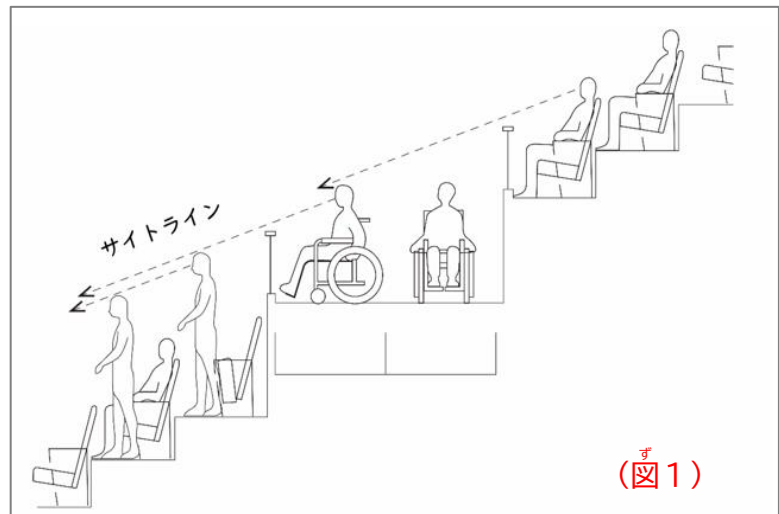


こんにちは。久しぶりの記事を書かせてもらいます。今回で、「ろくちゃんまちをゆく」101回目となりました。皆さんには、長くお付き合いいただき、有難うございます。毎回、記事を書くこともあれば、たまに書くこともあり、ゆる～く、長～く続けていきますので、これからも宜しくお願いします。



さて、今回の記事は、2025年の万博博覧会について書くことにします。開催については、まだ、先の話とされていますが、万博博覧会にはパビリオンの建設に必要な施設整備に関するユニバーサルデザインガイドラインがあり、その改定の検討会3回、もう少し議論が必要な内容について分科会が行われ、テーマ別で、車椅子席、トイレ・エレベーター・エスカレーター・カムダウンクールダウンに参画しました。期間は12月～3月までの期間でした。

検討会と分科会で主な論点としては、客席について、一般の客席でお客さんが立っても車椅子席では、全く見えなくなることがあり、お客さんが立っても見えるようにサイトラインの確保(図1)について提案がありました。例えば、私は野球(甲子園球場)、サッカー(パナソニックスタジアム)では、お客さんが立っている事がありますが、立っていても観戦できるようになっています。客席を低くすることで車椅子席の視線が干渉しにくくなり、見やすくなります。



(図1)

トイレについては、バリアフリートイレ(多目的トイレ)の利用では、車椅子、オストメイトの利用、片麻痺の

方、精神障害の方、知的障害の方、高齢者の方、LGBTQの方、乳幼児も利用される事で混雑します。例えば、私もバリアフリートイレで待つ事があり、待ちきれなく他のバリアフリートイレを探し、ヒヤヒヤすることもあります。バリアフリートイレでは機能の詰め込みになっており、車椅子が使えないことがあり、機能の整理をする事が必要となり、男性用トイレ・女性用トイレ・バリアフリートイレ、新たに男女共同トイレを踏まえていく事になりました。男女共同トイレでは、例えば、発達障害の男の子とお母さんが一緒に入れるなど異性介助の方やLGBTQの方でも利用しやすいように考えられています。





(図2)

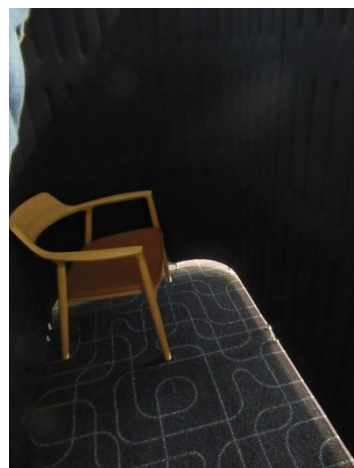
エレベーターについては、万博では家族連れの利用が増えることで、ベビーカーの利用が増えます。また、双子の子供さんの場合は、ベビーカーが大きくなることで、エレベーターの利用しづらさもあるようです。よくホームなどでエレベーター利用するのに渋滞に遭遇します。(図2)

今までは、エレベーターの利用の大きさは11人乗りで考えられていましたが、24人乗りや17人乗りの大きさに提案されています。緊急時には音声での対応でしたが、聴覚障害の方

が音声では難しいので、モニターを取り入れて手話で出来るよう提案されています。

エスカレーターでは、視覚障害の方から、例えば上りが右側で下りが左側なら万博内のエスカレーターの統一をしてほしいと提案がありました。統一されていなくて困ったことがあったようです。万博内のエスカレーターについては統一されるよう定めています。

カームダウンクールダウン (図3) では、知的障害の方、発達障害の方、精神障害の方、認知症の方が人の多いところや刺激的な視覚でパニック起きることがあり、一旦、落ち着ける場所が必要ということで設置されるように提案されています。また、他のお客さんに気兼ねなく利用できるセンサリールームの設置も提案されました。



(図3) 羽田空港のカームダウンクールダウン

というようにそれぞれの方から意見がでてきて、ガイドラインに入れてもらえました。この改定の検討会がなければ、今回の意見は入れてもらえてなかったのも、やはり当事者が参画して意見をあげていくことが大事だと思いました。今後は各パビリオンで楽しめる事が出来るようにと万博までの交通アクセスが利用しやすいように、それぞれの検討会があります。誰もが利用しやすいのは当たり前前の考えで、誰もが楽しめる万博になるよう、引き続き検討会に参画していきます。

事業紹介

就労支援部門 スマイルオフィス



まずはスマイルオフィス・庁内職場体験事業について簡単に紹介させていただきます。

庁内職場体験事業はさまざまな理由により、一般就労に必要な経験やスキルに不安がある方に対して、職場体験の機会を提供し、またスマイルオフィス事業は市役所の職員として雇用された期間で日々の業務を通じた就労準備支援の提供を行っています。

ついで、スマイルオフィスでの近況をご報告させていただきます。スマイルオフィスで働く市役所の職員さんは最長6ヶ月という期限があります。6ヶ月間というのは本当に短い期間だと感じます。あっという間に出会いと別れがやってくるサイクルなのですが、今年の3月末にも3名が退職し、それぞれの進路に進みました。そして4月から新たに3名がスマイルオフィスでともに働く仲間となりました。新たに仲間となった3名は職場の人間関係や環境、業務などに少しずつ慣れ、今では互いに助け合いながら仕事に取り組んでいます。つい最近、とある事業所さんがスマイルオフィスの見学に来られました。見学時の業務説明を3名の職員さんにもお願いしたのですが、見学の方々に自分のやっている業務の説明とちょっとしたコツなどもあわせて説明する姿はとても頼もしく、見学の方が帰られた後に「緊張した～」と笑顔で言い合い話している姿はとても晴れやかなものを感じました。

管理者 塩釜雄気

スタッフ紹介

就労支援部門 スマイルオフィス

こんにちは。「スマイルオフィス」の作由里子です。スマイルオフィスでサポーターとして仕事をさせてもらって1年が過ぎました。他のサポーターの皆さんに色々教えて頂きながら、何とか仕事の流れが分かってきたかな…という感じです。今まで、小学校では家庭教育相談員として子ども

達と関わり、社協

(茨木市ではありません)では日常生活自立支援事業で障害者や高齢者の金銭管理のお手伝いをさせてもらい、放課後等デイサービスでは重度の身体障害を持つ子ども達と、看護師さんと共に触れ合ってきました。スマイルオフィスでは様々な課題や目標を持った方達と毎日一緒に仕事をさせて頂き、日々、勉強させてもらっています。スマイルオフィスの就労は半年という短い期間ですが、スマイル職員の皆さんが希望を持って次のスタートが切れるよう、少しでも力になればと思います。又、庁内職場体験で実習に来られる方に寄り添ったサポートが出来るよう、努力していきたいです。まだまだ経験不足ですが、これからもよろしくお願い致します。



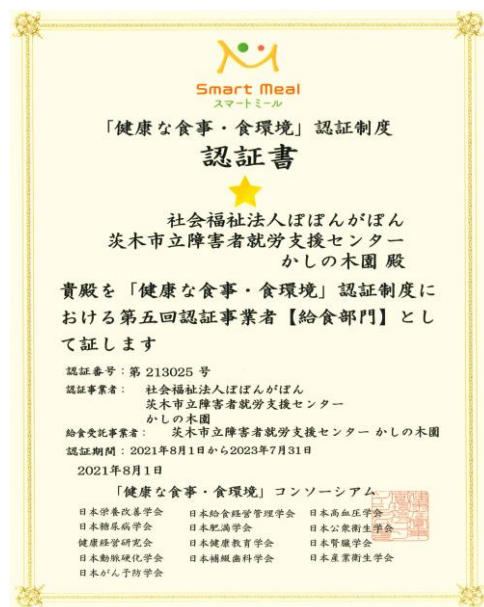
就労支援サポーター 作由里子

いっしょに考える。
いっしょに行う。



かしの木園の給食をご紹介します

～スマートミール いばらきしな いばらき 第1号 認証事業所～



スマートミールは、日本栄養改善学会などの13の学会や協会
からなるコンソーシアムによって認証されるものです。厚生
労働省の「生活習慣病予防その他の健康増進を目的として
提供する食事の目安」(2015年9月)や、日本人食事摂取基準
(2015年版)等を基本として設定された栄養素や野菜重量な
どの基準に適合した食事メニューと継続的に健康な環境で
提供される事業所に限り認証される制度で、社会福祉法人ぽん
がぼん 茨木市立障害者就労支援センター かしの木園が2
021年8月1日認証を獲得いたしました。

Smart Meal
スマートミール



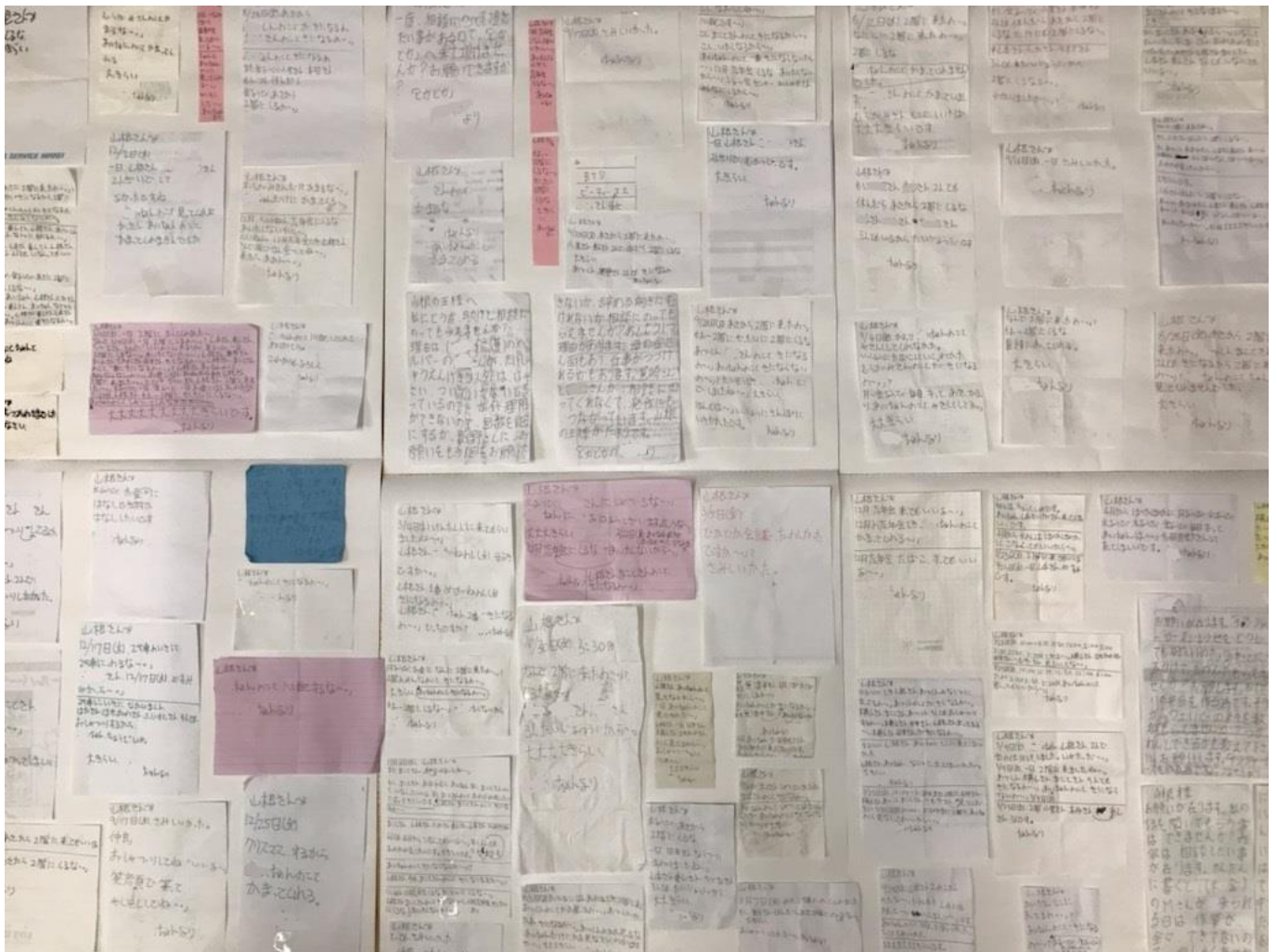
いっしょに考える。
いっしょに行う。



ぎょうのNANIKKA

007

生活介護事業所ほかほか・とかどかに通う利用者さんの取り組みのなかで、
 私たち支援スタッフや、利用者さん同士が「何かすごい」「何か良いなあ…」と感じた「何か」。
 名前をつけたり説明してしまう前に、まず色々な人に見て欲しい、
 そして一緒に考えられたら良いなと思います。



てがみ手紙

ほかほかのHさん、時々とかどかのFさん。毎日くれる手紙を、以前は読み終えてたまった分は処分してしまっていました。でもある人の、「もらった手紙はすべてその人の大事な表現」という言葉を聞いて、深く反省しました。それからすべて保管するようになりました。大小、使う紙も様々で(たまにティッシュペーパーのこともある)、もちろん書かれているメッセージも色々です。その時その時の思いの断片がこうして残っていくのは、何か暖かいことだな〜と今は思っています。

(題字：林裕之さん 文：山根康純)

いっしょに考える。
 いっしょに行う。



第41回つながりまつり中止のお知らせ

第41回つながりまつり実行委員会
実行委員長 六條友聡

平素より、つながりまつりにご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が未だ終息せず、社会情勢が不安定な状況が続いており、このような状況下において実行委員体制を十分に整えることが困難と判断し、誠に勝手ながら2022年に開催予定の第41回つながりまつりは、中止とさせていただくこととなりました。

2020年のつながりまつりから3年連続の中止となり、楽しみにして下さっていた皆様のご期待に添えない判断となりましたこと、誠に申し訳ございません。新型コロナウイルス感染症の感染終息を願いつつ、2023年は開催に向けて検討していきたいと思ひます。

それでは、2023年の第42回つながりまつり開催の折には、みなさまのご参加、ご協力をよろしくお願い致します。

問い合わせ先

【第41回つながりまつり実行委員会】(担当:六條友聡)

電話 072-623-9202 FAX 072-623-9203

メール tsunagarimatsuri@gmail.com

ご支援、ご寄付、ご提供ありがとうございます！

ご寄付等のお礼 2022年2月16日～2022年5月15日まで(順不同)

※郵便振替の都合上、お名前が反映できていない場合は上記期間に限らず掲載させていただきます。ご了承ください。

● 社会福祉法人ぽぽんがぽんへのご寄付ご協力ありがとうございました。

鎮山様 新井様 長島様 舟橋様 浅野様 北脇様 原田様 匿名の皆様

● つながりの会ぽぽんがぽん(後援会)へのご寄付ご協力、ありがとうございました。

【ご寄付いただいた方々】萩原様 コープ神戸ボランティアグループ小間物屋さん 匿名の皆様

【募金箱のご協力(回収)】埴淵様 野乃鳥様 シャルドン様 ファミリーマート並木町店様 ファミリーマート舟木町店様

● アルミ缶・牛乳パック・その他物品の提供ありがとうございました。

【アルミ缶】ハロハロ様 舟橋様 浅野様 古川様 谷口様 姫木様 作業所へ持参して下さった皆様

【牛乳パック】萬谷様 ハシオダニ様 関西よつ葉連絡会淀川産地直送センター様

作業所へ持参して下さった皆様

【ハガキ】林様



社会福祉法人ぽぽんがぽんへご寄付をご希望いただける方は、ゆうちょ銀行へお願いいたします

<払込取扱票をご利用される場合>

口座記号口座番号: 00930-0-212299

口座名称: 社会福祉法人ぽぽんがぽん

<口座振込をご利用される場合>

銀行名: ゆうちょ銀行 金融機関コード: 9900

店番: 099 預金種目: 当座

店名: ○九九(セトウキウ)

口座番号: 0212299

口座名称(漢字): 社会福祉法人ぽぽんがぽん

口座名称(カナ): フクポポンガポン



編集後記

世の中ではコロナも落ち着きつつあるのか、屋外で距離を取ればマスクを外していく動きも出て来ているところ。ぽぽんがぽんではグループホームでの感染があり利用者、職員みんな大変な思いをしたが何とか乗り切ることができた。

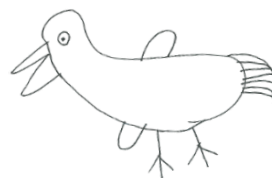
確かに以前に比べて感染しても重症化することが少なくほとんど軽症になってきていることは安心感があり社会活動が活発になることは当然である。しかし、重症化リスクの高い人にとっては、より気をつけなくてはいけない面も出て来る。

今日も又どこか他法人の作業所やグループホームで感染があったと情報が入ると、ぽぽんがぽんの利用者さんとの接触状況はどうだったかと慌てる日々は続いている。

(太田吾郎)

ぽかぽかで、
インスタグラムとスズリ
を始めました。

INSTAGRAM



SUZURI



- 法人本部、ヘルパー派遣、グループホーム窓口、相談支援、移動送迎
〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F Fax 共通 072-623-9203
法人本部 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
グループホーム窓口 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
移動送迎 Tel 072-623-9202 (9:00~18:00)
ヘルパー派遣 Tel 072-623-9205 (9:00~18:00)
相談支援 Tel 072-623-9210 (9:00~17:00)
- いばらき自立支援センター「ぽかぽか」(8:30~17:30)
〒567-0850 茨木市真砂玉島台 8-20 Tel 072-635-5762 Fax 072-635-5763
- いばらき自立支援センター「どかどか」(8:30~17:30)
〒567-0842 茨木市五十鈴町 7-29-1FS Tel 072-637-6882 Fax 072-637-6883
- 茨木市立障害者就労支援センター かしの木園 (8:45~17:15)
〒567-0031 茨木市春日 1-15-22 Tel 072-626-5910 Fax 072-626-5912
- 茨木市子ども・若者自立支援センターくろす (10:00~19:00)
〒567-0842 茨木市片桐町 4-7 Tel 080-2467-5566
- ユースプラザ center エント (10:00~19:00)
〒567-0882 大阪府茨木市元町 4-7 ローズ WAM2 階 事務室 Tel 080-1521-4624

編集人：「障害者」の生活をひろげる場「どかどか」

(社会福祉法人ぽぽんがぽん)

Tel(072)623-9202 (お問い合わせはこちらまで)

〒567-0888 茨木市駅前 1-4-14-3F

<https://popongapon.com/>

発行人：関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2-東興ビル 4F 定価:50円

UD FONT

み
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

いっしょに考える。
いっしょに行う。

